

第2回レジリエンスWG の趣旨・進め方について

2018年10月25日

経済産業省

第2回レジリエンスWGの趣旨・進め方について

- 本レジリエンスWGは、今年度に発生した様々な災害が電力インフラ・システムに与えた影響を鑑み、改めて電力政策における安定供給の重要性とレジリエンスの高い電力インフラ・システムの在り方について検討することを目的としている。
- このため、特に北海道全域にわたる大規模停電（ブラックアウト）については、電力広域的運営推進機関において検証委員会が立ち上げられ、技術的観点から原因究明や再発防止策等が検証されてきたが、本WGにおいても、この検証内容を踏まえつつ、過去における発電・送電投資の経緯を含め、経済性等も含めた総合的観点から検証・議論し、今後実施すべき対策に反映していくことが必要。
- 具体的には、
 - ①電力広域機関の検証委員会の中間報告（大規模停電の発生原因や再発防止策等についての技術的観点からの検証）について、広域機関から報告
 - ②経済産業省が北海道電力からのヒアリング等によって作成した北海道電力の設備形成（主要な発電・送電の投資決定・建設）の経緯について報告
 - ③ブラックアウトの主原因の一つとなった道東の3ルート送電線の地絡事故、苫東厚真火力発電所の故障トラブルの検証
 - ④これらを踏まえて、北海道電力の設備形成（投資決定・建設の経緯含む）や発災当時の運用と大規模停電の発生原因の関係性について、経済性等も含めた総合的観点から検証・議論していただきたい。

検証・議論にあたっての論点（案）

- 以下の点について、今回の大規模停電の発生原因との関係性について、経済性等も含めた総合的観点から検証・議論いただきたい。
 - ✓ 発災当時の北海道における発電・送電の設備の状況
 - ✓ 発災当時の北海道電力の発電・送電設備の運用状況
 - ✓ 北海道電力の設備形成（主要な発電/送電の投資決定・建設）の経緯
 - ✓ 道東の3ルート送電線の地絡事故、苫東厚真火力発電所の故障トラブルの検証結果